

北海道理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 18 名

立候補者数 : 17 名



氏名 前田 健太郎

都道府県士会 北海道

年齢 42

勤務先名称 かわむら整形外科医院

協会・士会役員歴

平成27年 第66回北海道理学療法士学術大会 大会長
平成27年～ 北海道理学療法士会 道北支部長
平成29年～ 北海道理学療法士会 道北地区理事

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員へ立候補しました前田健太郎です。現在、北海道理学療法士会の道北地区理事、道北支部長として活動しております。また、臨床では、入院及び外来での運動器疾患理学療法、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、そして中高生に対するスポーツ活動支援などを経験してきました。地域包括ケアシステムの構築、在宅医療への移行が進む中で、外来医療や介護保険領域では地理的又は制度的な問題からリハビリテーションサービスを適切に行えないケースが見受けられます。そのほか様々な課題を解消し理学療法を適切な形で社会へ役立ててゆくためには、教育、研究、臨床、そして政治への取り組みが必要と考えています。私は幸いにも北海道理学療法士会の理事会や道北支部の役員会へ出席し会員の意見を集約しやすい立場にあります。日本理学療法士協会の運営が皆様の感じている課題の解決に向かっているのかを確認してゆく所存です。



氏名 盛 雅彦

都道府県士会 北海道

年齢 56

勤務先名称 札幌市身体障害者更生相談所

協会・士会役員歴

平成19年 北海道理学療法士会 理事
平成21年 北海道老理学療法士会 理事 社会局長
平成29年 北海道理学療法士会 理事 副会長兼社会局長

立候補の趣旨

日本理学療法士協会の運営・活動方針を把握するとともに、北海道理学療法士会の業務遂行を円滑にするため協会の代議員に立候補いたします。



氏名 加藤 新司

都道府県士会 北海道

年齢 48

勤務先名称 札幌山の上病院



氏名 高橋 尚明

都道府県士会 北海道

年齢 48

勤務先名称 北海道医療大学

協会・士会役員歴

(士会)
平成21年～25年：北海道理学療法士会学術局理事
平成25年～現在：北海道理学療法士会教育局理事
(協会)
平成21年～24年：日本理学療法士協会生涯学習部部員
平成25年～28年：日本理学療法士協会生涯学習部業務執行委員会委員
平成29年～現在：日本理学療法士協会生涯学習課企画研修小委員会委員

立候補の趣旨

私自身、一病院の理学療法士であり、北海道理学療法士会の理事および日本理学療法士協会生涯学習課委員の仕事を担当している中で、めまぐるしく変わる社会情勢や制度に対し、年々増加していく会員の意見が協会へ浸透されていない状況を経験します。今回、会員の意見要望を協会へ伝え、届けるべき役割を果たすべく代議員に立候補します。どうぞよろしくご願ひ致します。

協会・士会役員歴

2011年～現在 日本理学療法士協会代議員
2013年～現在 北海道理学療法士会 学術・教育局付け理事

立候補の趣旨

2011年に理学療法士のキャリア形成や職域拡大の必要性を感じ、協会の方向性を検討する総会に参加したいと考え代議員に立候補しました。その後は、協会代議員とともに2013年には、北海道士会の理事に立候補し、学術・教育局付け理事として北海道の会員が参加する講習会等の企画運営に関わってきました。北海道では、理事会はもちろん、講習会などの士会活動や各施設への訪問などを行う中で、北海道の会員の皆様のご意見を伺う機会も多く、北海道の皆様の意見を代議員総会でお伝えしたと思ひ立候補いたしました。



氏名 小林 巧

都道府県士会 北海道

年齢 42

勤務先名称 北海道千歳リハビリテーション大学

協会・士会役員歴

平成15年 北海道理学療法士会 学会研修部部員
平成17年 北海道理学療法士会 財務部部長
平成25年(4～6月) 北海道理学療法士会 総務部部長
平成25年6月～ 北海道理学療法士会 事務・支部事業局付け理事
平成26年4月～ 日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

会員数の急激な増加によって、若い会員が増えたことにより、十分な指導も受けられないまま、日々臨床をこなす理学療法士が増えている。会員増加に伴う職域拡大のためにも、会員の質の担保は最重要課題であり、職場だけでなく、協会および都道府県士会が総力を挙げて取り組んでいかなければならない課題である。代議員として関わることで、会に貢献し、また、これからの若い会員の力になりたく、代議員に立候補いたします。



氏名 畑原 理恵

都道府県士会 北海道

年齢 54

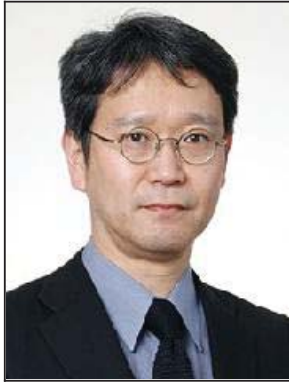
勤務先名称 自宅会員

協会・士会役員歴

平成25年～26年 北海道理学療法士会 社会・職能局付き理事
平成27年～28年 北海道理学療法士会 社会・職能局付き理事
平成29年～ 北海道理学療法士会 事務・支部事業局付き理事

立候補の趣旨

北海道理学療法士会の役員選挙にて、理事への選任をいただき、士会の活動を行ってまいりました。女性の会員が増えるなか、北海道の女性会員の意見を広く取り入れ、協会の活動へ意見を反映させていただきたく、代議員選挙に立候補させていただきました。



氏名 石橋 晃仁

都道府県士会 北海道

年齢 51

勤務先名称 日本医療大学



氏名 柿澤 雅史

都道府県士会 北海道

年齢 54

勤務先名称 札幌医科大学附属病院

協会・士会役員歴

北海道理学療法士会 社会局事業部長（H13～21年度）
北海道理学療法士会 社会局客体事業部長（H22～25年度）
北海道理学療法士会 社会局介護予防・健康増進支援部長（H26年度～現在）

協会・士会役員歴

平成13年～平成16年度 (社)北海道理学療法士会 理事 財務担当
平成17年～平成22年10月 (社)北海道理学療法士会 理事 事務局長
平成22年11月～平成29年度 (公社)北海道理学療法士会 理事 事務局長
平成21年 第60回北海道理学療法士学術大会 大会長
平成19年～平成23年度 (社)日本理学療法士協会 代議員
平成25年～平成26年度 (公社)日本理学療法士協会 組織率向上特別委員会 委員
平成24年～平成29年度 (公社)日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

北海道理学療法士会社会局の部長職を歴任してきました。
北海道の地域性や会員の動向などを感じながら、協会・士会の活動が
さらに円滑に進む一助となればという想いで立候補いたします。

立候補の趣旨

私たち、理学療法士を取り巻く環境は日々変化しています。需要と供給が明確ではない状況で毎年、大量に養成される理学療法士が安定的に働いていける職場、職域を確保することは団体として重要な役割であります。自分たちの職業に対し、未来を描くことができないようでは、研鑽し、より高みを目指すことには至らないと思います。年々、会員数は大幅に増加しているにも関わらず、学術大会や研修会への参加者は減少し、組織率も徐々に低下し、周囲からは、理学療法士の質の低下が指摘されています。医療、介護、さらには地域包括ケアシステムの中で自分たちが他に代わることができない、求められる存在になること、自ら学ぼうとする姿勢を常に持ち続け、それに応えられる高い質を担保することが必要です。
難局を乗り越えて、前に進んでいくためには、日本理学療法士協会、都道府県士会が協同し、行動していかなければなりません。自らの地域の課題や要望を伝えていくことはもとより、それらを解決する手立てを協会と共に検討し、個々の理学療法士が今後も誇りを
持って業務に専心していけるよう、代議員として、その意思決定において責務を果たしていきたいと思います。



氏名 佐藤 義文

都道府県士会 北海道

年齢 46

勤務先名称 札幌溪仁会リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

平成21年より、北海道理学療法士会札幌支部長。
平成22年より、北海道理学療法士会地区理事。
平成22年より、日本理学療法士協会 専門理学療法士（内部障害）
平成27年より、日本理学療法士協会 代議員
平成27年より3年間（3回）、札幌理学療法学会 会長

立候補の趣旨

北海道理学療法士会の会員の意見を協会に反映できる場と認識しています。
また、道外理学療法士とも情報交換も通じ、北海道や日本の理学療法士の進むべき方向性を考え、会員にも般化させていけたらと考えております。



氏名 梅本 かほり

都道府県士会 北海道

年齢 39

勤務先名称 専門学校北海道リハビリテーション大学校

協会・士会役員歴

H17. 4月～H19. 3月 社団法人北海道理学療法士会 学術局 学会研修部部員
H22. 4月～H25. 6月 社団法人北海道理学療法士会 教育局 教育部部員
H25. 6月～H27. 6月 公益社団法人北海道理学療法士会 学術・教育局付理事
H27. 6月～現在 公益社団法人北海道理学療法士会 社会・職能局付理事

立候補の趣旨

平成25年から理事として北海道理学療法士会の活動に関わらせていただいています。
また養成校教員として理学療法士の教育に携わって参りました。
理学療法士を取り巻く環境も変化し、会員が急増する中、協会の活動も大きく変化しています。
理事として士会活動を担っていること、また教員として輩出してきた多くの卒業生がいることから、北海道の会員の意見を広く取り入れることができると考え、このたび立候補致しました。



氏名 長井 豊貴

都道府県士会 北海道

年齢 50

勤務先名称 札幌医学技術福祉歯科専門学校



氏名 時永 広之

都道府県士会 北海道

年齢 53

勤務先名称 札幌医学技術福祉歯科専門学校

協会・士会役員歴

平成21年5月 社団法人 北海道理学療法士会 理事
 平成22年11月 公益社団法人 北海道理学療法士会 理事（至現在）
 平成26年4月 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員（至現在）

協会・士会役員歴

協会
 H27-29 代議員

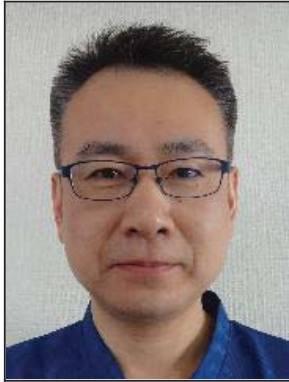
北海道理学療法士会
 H22-27 学術局 学会研修部長
 H22-27 札幌支部 副支部長
 H27-29 学術・教育局付け理事
 H29- 事務・支部事業局付け理事

立候補の趣旨

北海道理学療法士会の役員選挙にて理事を拝命しました。
 理事会等、士会活動が携わる諸会議へ参加する事で士会活動を担ってまいりました。
 北海道会員の意見を広く聞くことができる立場（役割）を活用して、
 全国組織である協会活動へ北海道会員の意見を反映したく、
 このたび、日本理学療法士協会代議員に立候補いたします。

立候補の趣旨

私は昨年6月に行われた北海道理学療法士会役員選挙において理事に専任いただき、現在は事務・支部事業局付け理事として活動しております。
 その活動の中で、広く士会員の方々から寄せられた意見を協会の活動に反映させていきたいと考えております。
 また、これまで道士会で行ってきた、種々の活動の経験を基に、日本理学療法士協会においても、代議員として微力ながらお役に立てればと考えております。



氏名 杉原 俊一

都道府県士会 北海道

年齢 48

勤務先名称 札幌秀友会病院



氏名 信太 雅洋

都道府県士会 北海道

年齢 55

勤務先名称 北海道千歳リハビリテーション学院

協会・士会役員歴

平成13年4月～：(社)北海道理学療法士会 学術局臨床教育部 部長
 平成17年4月～：(社)北海道理学療法士会 理事(職能局診療報酬部担当)
 平成19年4月～：(社)北海道理学療法士会 理事(職能局付け)
 平成21年4月～：(社)北海道理学療法士会 理事(社会局付け)
 平成22年4月～：(公社)北海道理学療法士会 理事(社会局付け)
 平成25年6月～：(公社)北海道理学療法士会 常任理事(学術局長)
 平成26年～：日本理学療法士協会代議員

協会・士会役員歴

平成13・14年度 北海道理学療法士会 学術局 学術誌部長、
 平成15・16年度 北海道理学療法士会 学術局 学術事業部長、
 平成15～24年度 日本理学療法士協会 学術大会部 部長、
 平成17・18年度 北海道理学療法士会 理事、
 平成19・20年度 北海道理学療法士会 理事 学術局長、
 平成21～24年度 北海道理学療法士会 理事 副会長・教育局長、
 平成21・22年度 日本理学療法士協会 ガイドライン委員会 教育ガイドライン部会員
 平成24年度～現在 日本理学療法士協会 代議員
 平成25年度～現在 北海道理学療法士会 理事 副会長
 平成25・26年度 日本理学療法士協会 指定規則検討特別委員会 委員
 平成25～28年度 日本理学療法士協会 学会システム委員会 委員

立候補の趣旨

これまで私は、平成17年度に理事を拝命し、道士会役員の仕事に従事し、平成25年度からは学術局の業務執行理事として、学術誌の発刊・学会運営支援・技術講習会の企画等、道士会員の生涯学習支援を行ってまいりました。毎年500名を超える新入会員に対する新人教育プログラムの履修、5000人を超える道士会員のキャリアステージを考慮した多様な技術講習会の企画、学術大会や学術誌による情報発信等、生涯学習の推進は重要な課題となっております。平成33年4月からは新生涯学習制度が予定されており、協会の基本方針を踏まえ道士会員に還元したいと考え、代議員として立候補致しました。

立候補の趣旨

平成24年度の代議制が始まった時から協会代議員を努めております。
 地域包括ケアシステムの急速な進展や大きく変遷している医療情勢の中、士会運営と協会運営との連動は、非常に重要だと感じております。
 北海道理学療法士会士会の副会長も努めておりますので、協会代議員として協会運営の一端を担うことが、士会と協会の連動(協会から士会、士会から協会)に非常に役立つと考え、引続き、協会代議員に立候補致します。



氏名 石田 亮介

都道府県士会 北海道

年齢 46

勤務先名称 函館脳神経外科病院



氏名 濱本 龍哉

都道府県士会 北海道

年齢 53

勤務先名称 新さっぽろ脳神経外科病院

協会・士会役員歴

平成25年 北海道理学療法士会道南支部長
平成29年 北海道理学療法士会道南支部長・地区理事

協会・士会役員歴

平成13～14年度 (社)北海道理学療法士会職能局診療報酬部部長
平成15～平成16年度 (社)北海道理学療法士会理事(職能局担当)
平成17～平成22年度 (社)北海道理学療法士会理事 職能局長
平成22～平成29年度 (公社)北海道理学療法士会理事 職能局長

立候補の趣旨

平成29年度より北海道理学療法士会の地区理事として、士会の活動に微力ながら関わっています。この度、道士会員を代表し、協会の運営・活動に参加するとともに、日本の理学療法士の発展に寄与したいと考え代議員に立候補させていただきます。

立候補の趣旨

地域包括ケアシステムの推進が各地で行われているが、まだまだ地域による格差が大きい現状にある。市町村単位での活動、中学校区をイメージしての構築という形での実現に向けて、私たち理学療法士の活動も広がっていています。同時に協会員の数も増加していますが、まだまだ動ける会員は少なく、今後の活動には不安が残ります。会員一人ひとりの理解と地域での自治体、施設・病院側の理解、住民の理解を広げていくことが重要な課題であり、解決に向けての取り組みを進めるべき点であると考えます。都道府県での活動に対して協会としてのバックアップ、フォローのあり方が問われているこの時に、私は北海道の現状、意見を協会の活動へ届けるべく代議員に立候補いたします。



氏名 森 茂樹

都道府県士会 北海道

年齢 52

勤務先名称 帯広協会病院

協会・士会役員歴

昭和61年 理学療法士免許取得後より継続して支部活動（社会職能部門）に従事
平成23年～28年 公益社団法人 北海道理学療法士会 十勝支部長・十勝地区理事
平成29年～ 公益社団法人 北海道理学療法士会 十勝地区理事

平成17年 第56回北海道理学療法士学術大会 準備委員長
平成26年 第65回北海道理学療法士学術大会 大会長

立候補の趣旨

現在北海道理学療法士会の地区理事を拝命しております。

若い会員が増加する中で、理学療法士が魅力ある職種で有り続け、住民からも必要とされる存在として認められるには、組織力が必要と考えます。その組織力を構成するには、支える会員の力が不可欠です。

理学療法士の会員数が少ない時代から、地域住民に寄り添い「理学療法士は頼れる存在」とされた先輩達の意思を受け継ぎ、頼れる仲間作りをしたいと思っております。

この度、地域で活躍している理学療法士の想いを協会に届けることと、協会の方針をフィードバックする役割を担うべく、代議員に立候補させていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。